



瀧澤 征幸 議員

【質問】 今後取組む行財政改革と合併特例債の活用方法について伺いたい。

【市長】 遠野市としては、足腰が強く、体力を兼ね備えた自治体を目指し、行財政基盤強化に向けた経営改革に積極的に取り組む。また、

合併特例債について、合併後のハード事業への充当、基金事業としての伝統文化伝承事業や商店街活性化対策事業等ソフト事業への活用を考えている。金額にして起債可能額の95%に相当する72億1千万円を見込んでいるが、来年2月に策定する新市健全財政5ヵ年計画で更に精査していく。

【質問】 宮守町への優先行政施策は。

【市長】 その主なものは、平成19年4月の放送開始を目標に遠野ケーブルテレビ普及を目指す。2つ目は、住民に身近で大切な保健・医療・福祉の推進であり、健康福祉の里を中心に緊密な連携・強化を図る。3つ目は、学習・芸術についてである。文化交流施設「みやもりホール」を市民センターと共に芸術・文化の拠点施設として活用していく。

【質問】 遠野市教育行政の方向は。

【教育長】 学校教育の面では、特に中学校において、生徒数の減少に伴い、学校のあり方、再編について検討する必要がある。また、学力向上対策や老朽校舎の計画的整備、学校給食事業の見直しなどである。

社会教育の面では、生涯学習社会に対応した学習支援、スポーツ事業の展開と競技スポーツの強化・支援、家庭教育の振興、文化財の保存・活用などである。

また、新遠野市の教育目標の設定や教育基本計画の策定も進めなければならない。

これら主な課題は、早急に検討・整理をし、できるだけ早い時期に実施できるよう取組んでいきたい。



子供のころからスポーツ振興を

遠野型住宅建設の普及推進を

【質問】 新市を担う市長の市政運営についてどんな姿勢で取り組むのか。新市のまちづくりの基本理念としての「二つの個性の融合化」を進める方法は。合併してよかったと思われる将来像は。

【市長】 責任の重大さを痛感している。緊張感を持って市政運営にあたる。「市民との対話、現場重視、公平・公正・公開」を大切にし、地域経営に取り組み、選挙公約の15の主要プログラムに早急に取り組むことが大事と考えている。農業の活性化や遠野テレビを宮守町に拡大し、情報の共有化等、総合力で取り組む。

【質問】 収入役の事務を助役が兼掌する理由と監査委員を3人体制にする理由は。

【市長】 収入役については、助役と収入役の事務の点検と確認の結果、合理化し兼掌も可能と判断した。監査委員は、行政執行を確立するうえで監査機能の強化、充実は重要と考え、3人体制を図った。



菊池 民彌 議員

【質問】 仮称「岩手県災害備蓄センター」を本市に誘致する考えはないか。防災マップを作成する考えはないか。消防庁舎の建設はいつの年度か。

【市長】 備蓄施設と消防庁舎は、一体と考える必要がある。庁舎は、総合的な消防防災拠点施設として計画に入れる。調査・検討の職員体制も整えた。備蓄センターについては、国や県を説得できる状況をつくり提案していきたい。

【消防長】 防災マップは市民の防災の手引きとして必要だ。防災計画と併せ、作成に取り組む。

【質問】 地場産材を利用した遠野型住宅建設の普及推進を図るべきと思うが。

【市長】 遠野型住宅の普及は、地産地消という観点からも、遠野産材を使った遠野式、循環型林産業の振興に直接的に寄与するものであり、今後も積極的に取り組みたい。